見晴台~茶ヶ床園地~権現山~周防台~

桶ヶ辻~天狗岩~芳ヶ谷~貝殻山~見晴台

見晴台からの 天狗岩

2021年5月22日

九州北部は例年より3週間も早い梅雨入りとなり、今週はずっと雨模様。5月の爽やかな季節も吹っ飛んでしまい本当に残念だ。しかし、お天気の神様はこの週末に微笑んでくれた。 それならば、梅雨の晴れ間に平尾台へ。本日の目標は天狗岩。先ずはグリーンが濃くなった権現山の急斜面から取り付き、周防台・桶ヶ辻経由で天狗岩。最後は貝殻山で締めくくった。



尾根を彩る天狗岩直下のヤマツツジ

<コース概要>

- 1、見晴台 11時15分 ~ 2、千仏鍾乳洞への車道 ~ 3、茶ヶ床園地 ~
- 4、権現山への分岐 ~ 5、権現山 ~ 6、周防台 ~ 7、桶ヶ辻 ~ 8、天狗岩 ~
- 9、芳ヶ谷 ~ 10、貝殻山 ~ 11、見晴台 15時46分



1、見晴台 11時15分 スタート

本当は茶ヶ床園地の駐車場に停めるつもりだったが、満車で車が溢れていた。仕方ないので、見晴台に戻って運よく空いたばかりのスペースに停めて出発。今日の目標は天狗岩だが、権現山の急斜面も上りたいので、一旦、千仏鍾乳洞への車道を歩き、車道途中から茶が床園地を目指すことにした。



2、千仏鍾乳洞への車道 11時17分 沿道に咲く花を楽しみながら歩いて行く。



時間が止まったようなのんびりムード



タカサゴソウ

見晴台から千仏鍾乳洞に向かう車道を歩いて行くと、正面に最初に目指す権現山が見えている。あの斜面を直登するのを以前から楽しみにしている。頭上の白い標識を見ると、千仏鍾乳洞まで950m。我々はその途中、貝殻山近くから茶ヶ床園地を目指す!



アザミとシジミチョウ

アザミとミツバチ

息を殺してそっとカメラを近づける。

沿道の花々に足を止めてご挨拶









かがり火盆地を見下ろす 11時43分 見晴台から歩いてきた車道が見える







車両進入禁止のゲートを越える 12時03分



ゲートを越え柵の横を通り過ぎると・・・



車道のショートカットルートへ 12時04分



草が茂っているが、踏み跡はしっかり



右上に権現山の急斜面



ショートカットを終え車道へ 12時09分



木の手前にあるグレーチングが目印となる



4、権現山への分岐 12時11分 グレーチングの横から取り付いて権現山を目指す!



♪自分の重さを~♪感じながら坂道を~♪登る~♪



頑張って上るぞー 12時21分 上を見ると心が萎える。足下に全集中! 権現山の斜面は見事に草が覆い茂り、爽やかな風が似合うようになってきた。



約2ヶ月前(3月14日)に撮影。上とほぼ同じアングルの写真。



必死に上って振り返る 12時29分 すっかり緑の台地に変身している



芽吹き前の台地。約2ヶ月前(3月14日)に撮影。上とほぼ同じアングルの写真。



5、権現山 12時31分 558m「フゥー」車道から20分で上り着いた。



達成感



上ってきた反対側(周防台側)に下る。 権現山から一旦急降下してまた同じように 急斜面を上ることになる。 12時35分



次は周防台に行ってみよう! 12時35分

ポツンと咲いていたカノコソウ



中峠からのルートと合流して上って行く



権現山を振り返りつつ登る 12時45分 権現山は以前、御陵山とも呼ばれたらしい。



急登終了



主稜線へ出て右が周防台山頂



立派なアザミがたくさん



周防台山頂へ最後の上り 12時50分



カノコソウもたくさん



6、周防台12時56分606m景色抜群!権現山山頂から21分だった。



気分最高!



周防台山頂から桶ヶ辻方面を眺める いよいよここから天空の稜線歩きが始まる。 家内は初めてのルートなので楽しみにして いた。東尾根とも呼ばれるこのルートは、天 狗岩まで視界を遮るものがなく、展望に関し ては天下一品。途中、運が良かったら桶ヶ辻 でパラグライダーも見学できる。この天空の 散歩道は平尾台のお薦めルートである。



ヒバリとウグイスの鳴き声が混在する天空の散歩道 12時58分



下界の行橋方面も見渡せて気分も上々。 でも空腹感には勝てない(笑) 「この辺で♠おにぎりタイムにしよう!」と、登山道から外れた岩の上に腰を下ろした。





7、桶ヶ辻 13時31分 568m 残念ながらパラグライダーは飛んでいなかった(悲)



パラグライダー発着の山頂斜面と青空。そして風に任せた吹き流し。絵になるなあ~。



取り敢えず記念撮影



桶ヶ辻はパラグライダーの聖地



山頂斜面はアザミが咲き乱れていた



山頂から行橋方面を遠望



桶ヶ辻山頂で遊んだら次は天狗岩を目指す! 13時39分 吹き流しが揺れる



稜線の先には、塔が峰、七つ森、遠く香春岳などが見えている。 13時46分 天空の散歩道は続く・・・



石灰岩質ではない稜線 13時48分

平尾台と言えば、誰しもカルスト台地で石灰岩質と言う先入観がある。

しかし、今歩いている稜線は花崗岩で形成されている。鬼の唐手岩と同じように、火山活動によって溶岩がこの石灰岩質の平尾台に貫入してきたと言うことらしい。よって、これから向かう天狗岩も花崗岩である。



道は緩やかに下って行く 13時50分



天狗岩が頭を出した 13時53分



天狗岩に近づき・・・ 13時57分



左側へ回り込む 13時59分

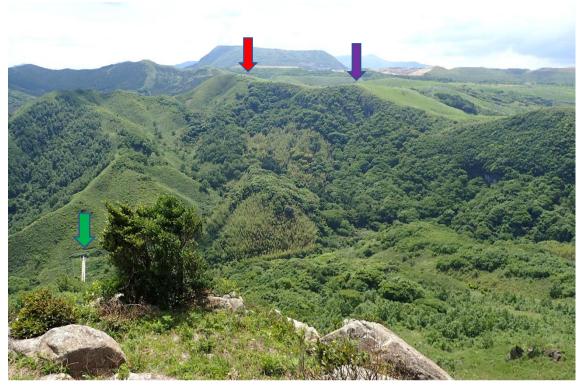


8、天狗岩 14時00分 436m 桶ヶ辻から21分。気分よく歩いているの で、あっという間に到着した。



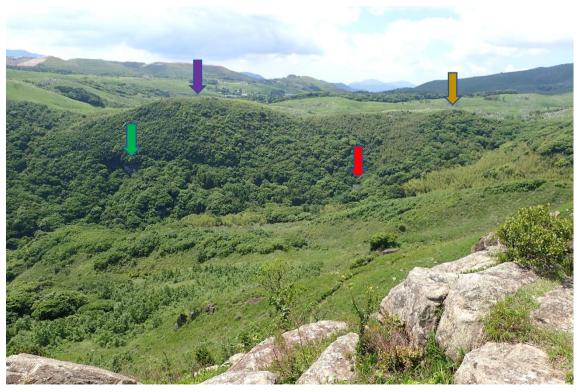
小休憩

<天狗岩から地の果てを覗く>

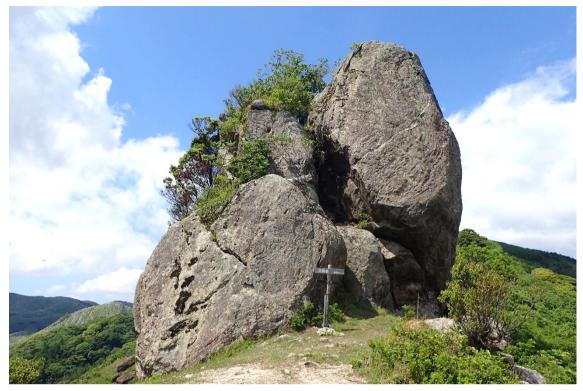


平苅コンベア、大かんの台、風神山

不動洞から流れ出る水の音がここまで響いてくる



千仏ロック、千仏鍾乳洞(屋根が見えている)、不動山、堂金山



景色を楽しんだ後、天狗岩の写真を撮影して下山 14時06分





標識のすぐ下でヤマツツジが咲いていた。 14時16分 奥が天狗岩









9、芳ヶ谷 14時48分 目の前に貝殻山。行ってみよう! 左へ進んで貝殻山を目指す! 右は芳ヶ谷を通り抜けて茶ヶ床園地へ続いている。



斜面にはカノコソウがたくさん



カノコソウ



貝殻山へ取り付く 14時57分

登山道を上り詰めた場所に、目印になる木と大きな岩がある。そのすぐ右横から上ってもOKだが、今回は少し通り過ぎた所からの踏み跡を辿った。

この辺りは上を目指す支線がいくつもあり 迷ってしまう。しかし、どの支線からでも貝殻 山へと通じている。



木と大きな岩から少し下ると・・・15時01分



右に上る道がある。踏み跡は明確だ!



踏み跡を辿り斜面を上ると・・・ 15時02分



山頂碑が見えてきた 15時04分



10、貝殻山 15時05分 なんなく登頂!あれは飛行機雲か?UFOか?



山頂(芳ヶ谷側)でちょっと休憩



さっきまで歩いていた桶ヶ辻の稜線



往路を下るはずが・・・



まっすぐ下り過ぎてしまった



踏み跡を辿り、貝殻山の山腹をまっすぐ下って行くが・・・ 15時22分 途中で左へ軌道修正

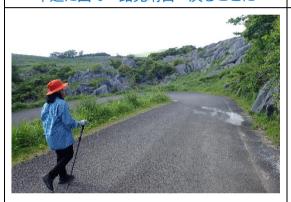




車道に出て一路見晴台へ戻ることに



往路はここから茶ヶ床園地を目指した



沿道の花を観察しながら



堂金山への分岐を通過 15時40分



遠くの竜ヶ鼻を正面に見ながら



見晴台もあと少し 15時45分



11、見晴台 15時46分 ゴール 今日は四座を制覇し、なんとか無事にゴール。所要時間は4時間31分。

スマホの歩数計は13774歩だった。 5月も半ばを過ぎ、平尾台もいよいよ花が多

くなってきた。今から咲く季節の山野草がと ても楽しみだ。早く梅雨明けするといいのだ が・・・・。お疲れ様でした。

<本日出会った花>



ミヤコグサ



ヒメハギ



ニワゼキショウ



ソクシンラン



クサイチゴの実



ノイバラ



ウツギ



ナガバモミジイチゴの実



フナバラソウ



クララ